STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法　暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化

時給1000円以上の最低賃金を今すぐに

安倍首相は、昨年11月24日の経済財政諮問会議で、最低賃金を毎年３％程度引き上げ、平均1,000円程度をめざすと述べ、「GDPにふさわしい最低賃金にする」と現状の低さを認めました。

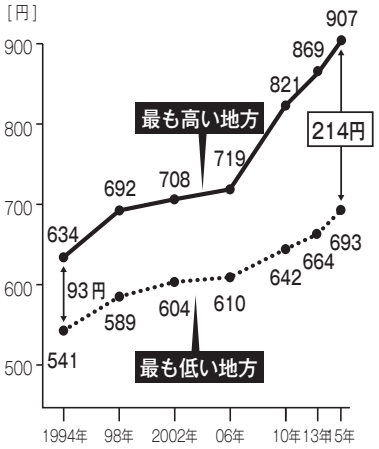
2015年10月からの最低賃金は、全国加重平均で時給798円。この水準では、労働基準法が求める「人間らしい暮らし」はできません。いますぐ1,000円以上に引き上げることが必要です。

全国一律最賃制の確立を 低すぎる最低賃金地域格差は広がる一方

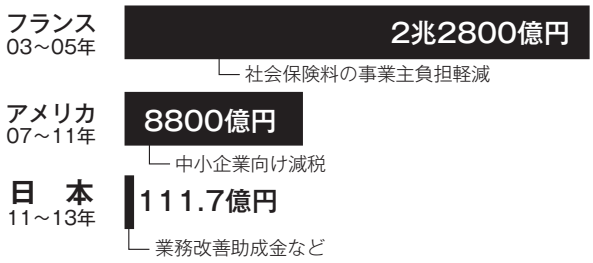
日本の最低賃金は、都道府県別に決められ、最高は東京の907円。最低は、鳥取、高知、宮崎、沖縄で693円です。最高と最低では、同じ仕事でも、１日８時間で1,712円、月22日間働いて37,600円超、年収では45万円を超える差になります。

最低賃金の差は、低い地方から高い地方に労働力を流出させ、地方の高齢化をすすめ、地域を疲弊させます。格差解消には、全国一律最賃制度の確立が必要です。

最高額でも時給907円
どんどん広がる地域格差



最賃引き上げのための中小企業支援



中小企業支援の大幅拡大が 最低賃金引き上げのカギ

最低賃金を引き上げるためには、中小企業への支援の拡充が欠かせません。欧米では、政府が主導して、社会保険料の事業主負担分の補助や中小企業向けの大幅減税を実施し、最低賃金の引き上げを推進しています。

全国の企業の99.7%、労働者の７割を雇用する中小企業への支援の大幅拡大が、最低賃金引き上げのカギ。最賃の引き上げで景気を回復することが王道です。

すべての労働者の賃上げで日本経済に活気を

お気軽に電話して下さい　秘密厳守 相談無料　労働相談ホットライン　フリーダイヤル 0120-378-060

全労連 全国労働組合総連合
ZENROREN
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4
TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620
http://www.zenroren.gr.jp

2016.1